

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和5年8月16日(2023.8.16)

【公開番号】特開2022-30618(P2022-30618A)

【公開日】令和4年2月18日(2022.2.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-030

【出願番号】特願2020-134743(P2020-134743)

【国際特許分類】

H 01 L 21/304 (2006.01)

10

A 47 L 13/16 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/304 G 4 4 G

H 01 L 21/304 G 4 4 C

A 47 L 13/16 B

【手続補正書】

【提出日】令和5年8月7日(2023.8.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

連續気孔を有し、湿潤状態で弾性を有する多孔質材によって構成された円筒状のスponジ体と、

前記スponジ体の内径部を挿通し、前記スponジ体の内周面を固定的に支持する軸体状のコアと、を備え、

前記コアを、連續気孔を有する多孔質の焼結体によって構成した

30

ことを特徴とする洗浄用スponジローラ。

【請求項2】

前記コアを、有機焼結体によって構成した

ことを特徴とする請求項1に記載の洗浄用スponジローラ。

【請求項3】

前記焼結体が筒形状である

ことを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の洗浄用スponジローラ。

【請求項4】

前記焼結体の平均気孔径が5μm～800μmであり、気孔率が30%～50%である

40

ことを特徴とする請求項1～請求項3の何れか1項に記載の洗浄用スponジローラ。

【請求項5】

前記スponジ体は、前記焼結体の連續気孔へ入り込んで前記焼結体と一体化することにより前記コアに固定される

ことを特徴とする請求項1～請求項4の何れか1項に記載の洗浄用スponジローラ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

50

(実施例)

ポリビニルアルコールを水溶液とし、この水溶液に架橋剤としてアルデヒド類、触媒として酸、及び気孔形成剤として澱粉等を加えた混合液とし、図4及び図5に示すようにコア2を付加した型11に混合液を注入し40～80で反応させてスponジ体3を生成し、スponジ体3及びコア2を型から取り出した後、水洗により気孔形成剤などを除去し、コア2の内径部の余剰のスponジ体を切除して、スponジローラ1を作製した。

10

20

30

40

50